

## 第 39 回 評議員会

文責：青年評議員東北ブロック代表  
及川美聡

### 1. 始めに

下記の内容については、当日の配布資料及び説明者等の発言を記憶、記録し、報告したものであり、全ての内容、数字等の正確性が保証されているわけではないことを予め記す。

### 2. 主な概要

- ・加盟証書授与式
- ・第 38 回評議員議事録(案)の承認
- ・主要事業の実施報告（2016 年 1-5 月）及び今後の主要事業
- ・組織・活動委員会からの報告
  - ①70 周年ビジョン部会
  - ②定款・諸規定部会
  - ③青年活動部会
- ・2016 年度事業計画書及び予算書について
- ・遺贈について
- ・熊本地震について
- ・その他
- ・役員・評議員情報交換

### 3. 詳細及び記憶に残ったこと

- 日本ユネスコ協会連盟加盟証書授与式
- ・郡山次世代ユネスコ協会
  - 55 歳定年制を定めている
  - 定年後の会員は県内の他協会へ引き続き移行することを明文化している。
- ・北広島ユネスコ協会
  - 北海道の北広島
  - クラーク博士が「ボーイズビーアンビシャス」と学生と別れたのが北広島
  - 平和記念公園の火を分けてもらって小さな平和公園で火を灯している
  - もう会員 50 人越え
- ・ICUユネスコクラブ
  - 国際基督教大学
  - 今までは学内で勉強会などをしてきたが、これからは外部と関わっていきたい
  - 創設者の千葉氏「識字率が低いことを体験しないと分からないという学生がいたので、10 人集めてフィリピンに行った。それが当ユネスコクラブになった」「学生主体の団体であり、教員・大人が支援してきたから続けてきたんだと考えている」

- 第 38 回評議員会議事録(案)の承認

承認された。

- 主要事業の実施報告（2016 年 1-5 月）及び今後の主要事業

- ・ 青少年ユネスコ活動助成は申し込みが多く、去年度より、締め切りを守っているか、文書はきっちりしているか等を見られ、審査が厳しくなっている。助成金は全体で 500 万の予算がついている。

- 70 周年ビジョン部会

民間ユネスコ運動 70 周年ビジョンとミッションについて

- ・ 和歌山ユネスコ協会

ユネスコは事業をすることで儲ける仕組み作りが苦手。収入を得ることをうまく組み込むことが大切なのではないか。それが持続可能なことにつながるのではないか。

- ・ 玉川大学ユネスコクラブ小林氏

ユネスコ協会とユネスコクラブとの連携強化を組織的に行っていくべきではないか。仙台の全国大会やユネスコスクールの全国大会でユネスコクラブの代表者が何人かはいるとかはできないのか。

- ・ 山梨県ユネスコ協会連絡協議会

E S D の推進。民間ユネスコの E S D への関わり方が難しい。学校で E S D を推進しても、成長と共に受け皿が少ない。プラットフォーム作りを具体的に取り組んでほしい。中部東のブロ研でやる。推進ではなく実際の活動で。

- 役員・評議員情報交換

70 周年ビジョンについて（北海道東北ブロック）

- ・ 岩手「語り継ごう 平和プロジェクトという当協会の企画がビジョンに沿っている。“歴史を学ぶ”という言葉を入れ込んでほしい。」

- ・ 福島「“科学”の文言は核を意識している。」

- ・ 秋田「“核兵器”という文言が入ったのは進歩である。」

#### 4. 所感

議事録の承認や予算に関しては、当日資料が渡されてその場で判断しなければならず、熟考する機会、時間が無い。ブロックの意見を集約するのが青年評議員の役割であるにもかかわらず、事前に重要である議事録や計画、予算に関する資料がもらえないために、意見を集約したうえで評議員会に臨むことができない。この点が非常に残念であると感じている。

青年の活動については、活動助成等により、支援がなされるようになってきたことは喜ばしい。今後はその支援に応える活動を行うことが、青年には求められてきていると感じた。それが、活動助成の申込みの様式をしっかりと作ることもあらわれているのではないかと思う。青年の数を増やす、活動を増やしていくには、支援する側、される側双方の努力が必要であり、そして、その双方に呼びかけることが、自分が評議員として行っていくべきことなのではないかと考えた。